

会議名	支援相談員部会 北ブロック会	<input type="checkbox"/> 全体会 <input checked="" type="checkbox"/> ブロック会 <input type="checkbox"/> 執行部会
開催日	平成 23 年 7 月 27 日(水) 14:00 ~ 17:00	
場所	特別養護老人ホーム 片平長寿の里 地域交流室	
参加者	アクアピア新百合、ウェルケア新吉田、荏田あすなろ、千の風・川崎、ソフィア都筑、たかつ、ハートフル瀬谷、 ファイン新横浜、牧野ケアセンター、三田あすみの丘、みどりの杜、遊花園、よみうりランドケアセンター、 リハビリポートわかたけ、レストア川崎、ろうけん宮前、老健リハビリ横浜、若葉ヶ丘  <div style="text-align: right;">以上 18 施設 24 名 記録:玉城</div>	
内容	<p>I. 北ブロック長 たかつ 小森さんによる挨拶</p> <p>II. たま日吉病院 医療福祉相談室 井桁さんによる病院紹介 (病院紹介、療養病棟の説明)</p> <p>III. 片平長寿の里 施設見学(2 グループに分かれて) 施設長挨拶</p> <p>III. グループワーク「退所支援について考えよう」            &lt;退所支援の事例を検討&gt;            (例:利用料の支払いが遅い、家族に連絡するもなかなか繋がらない、独居していたアパートが取り壊され            帰る家がない、家族に退所を促すも返事のみ・・・etc という方について)</p> <p>≪1 グループ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設での近い事例を挙げ、重ねて事例の退所支援について検討。</li> <li>・事例の問題点に関しては入所時の家族へのインテークが重要であった。在宅復帰への支援に関しては本人の意向も重要であるが、家族の理解があるかどうかはかなり大きいと意見が出た。</li> </ul> <p>≪2 グループ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退所支援はほとんど行っていない。入所者の家族同士が団結しており退所指導が困難で入所期間が 10 年以上の方もいるという施設があった。</li> <li>・事例の退所支援に関しては、行政に相談し仲介してもらう。在宅生活が困難であれば、養護老人ホームや軽費老人ホームへの方向も促していく。在宅復帰を検討する場合は、一時貸付金等の救済制度を活用したかどうかという意見があった。</li> </ul> <p>≪3 グループ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退所においての問題点は、「住んでいたアパートが取り壊されてしまった為、新しいアパートを借りなければならないが、本人の年金も定額。」「キーパーソンが息子で、その他の連絡者がいない。」「利用料の支払いが遅れている。」「家族とのラポールを作れていない。」と挙げられた。解決策として、入所後のプランニング、ケースワーカーと密に連携を取る、連絡者を長男のみでなく他の協力可能な親族を探す、アパートに帰れないのであれば長男家族と同居を促してみる、他施設(老健)申し込みをして頂くとの案が挙がった。</li> </ul>	

<p>内容</p>	<p>《4 グループ》</p> <p>・退所支援に対する問題点を挙げ、問題点に関しての改善点を検討。</p> <p>問題点：①利用料の支払いが遅れている。連絡しても繋がらない事が多い。②独居していたアパートが取り壊しになってしまった。③連絡者が長男のみで本人の状態に関しての理解力があまりない。④面会にあまり来ない。</p> <p>改善点：①支払いに対しては、最低でも月に 1 回は面会に来てもらい、次回の面会日を決定する。不可能な場合は利用者の状況についてのお便りを送付し、現状の理解をしてもらう。通帳を預かるという案もでた。②在宅復帰が困難な場合は在宅以外の今後の方針を家族に検討してもらい、特別養護老人ホーム等の次の施設の申し込みを促す。③本人の意向を聞き取り、家族へ伝える。④連絡者が長男のみなので、他の親族がいるか確認し協力者を探す。</p> <p>IV. 各グループより発表</p> <p>V. 北ブロック長 たかつ 小森さんによる挨拶</p> <p>VI. 新人研修の連絡と次回ブロック会の予告</p> <p>VII. 懇親会案内</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------	---